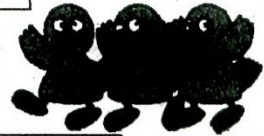


## 資料 1

# 学びゆう会でのいけんの発びょうの仕方

### 1 じぶんの考えをはっきりと言いましょう。

- 「わたしは・・・がいいと思います。」
- 「わたしは・・・のいけんにさんせい（はんたい）です。」



### 2 りゆうをはっきりさせて発びょうしましょう。

- 「わたしは・・・がいいと思います。りゆうは・・・だからです。」
- 「わたしは・・・というりゆうで・・・がいいと思います。」
- 「わたしは・・・のいけんにさんせい（はんたい）です。りゆうは・・・です。」

### 3 友だちのいけんをうけて発びょうしよう。

- 「〇〇さんのいけんにつけて、わたしは・・・というりゆうで・・・がいいと思います。」
- 「わたしは、はじめ・・・がいいと思っていましたが、〇〇さんのいけんを聞いて・・・のいけんの方がいいと思うようになりました。りゆうは・・・です。」
- 「〇〇さんのいけんは・・・だけど、わたしは・・・がいいと思います。」

### 4 ていあんりゆうやめあて・学びゆうもくひょうをいきして発びょうしよう。

- 「・・・のために話し合っているのだから、わたしは・・・がいいと思います。」
- 「ていあんりゆうにあるように・・・ためには、わたしは・・・のほうがいいと思います。」

### 5 2つのあんをまとめて発びょうしよう。

- 「〇〇さんの・・・といけんと△△さんの・・・といういけんを合わせて・・・にするといいと思います。りゆうは・・・だからです。」
- 「それぞれのいけんのよいところをとって、・・・にするといいと思います。」

### 6 わからないことはどんどんしつもんしよう。

- 「〇〇さんのいけんの・・・のぶぶんがよく分からないので、詳しく説明してください。」
- 「どうして〇〇さんは・・・を発びょうしたのですか？」（あい手の気持ちを聞く）

### 7 し会をたすける発げんをしよう。

- 「出し合う時間がすぎているので、くらべ合う時間に進んだ方がいいと思います。」
- 「今は、出し合う時間だと思います。」

## 資料 1

### 8 はんたいしている人をせっとくしよう。

- 「〇〇さんがしんぱいしている・・・は、●●●をすれば、いいと思います。」
- 「〇〇さんがはんたいしているいけんに・・・をたせば、いいと思います。」

### 9 友だちを思いやる発びょうをしよう。

- 「〇〇さんが・・・のいけんを言ったわけは●●だと思ひます。」
- 「〇〇さんの・・・のいけんも●●●が、いいと思ひますが、わたしは、△△がいいと思ひます。」

### 10 友だちのいけんにどんどんつけたそう。

- 「〇〇さんのいけんに・・・をつけたせば、もっとよくなると思ひます。」
- 「〇〇さんのいけんに・・・をつけたせば、さんせいです。」

### 11 きまったことをうけいれよう。

- 「・・・にはんたいしていたけど、さんせいにします。」
- 「・・・に●●●をすれば、さんせいします」(じょうけんつきさんせい)

発びょうの仕方にこまったときに、さんこうにしましよ。でも、1番大切なのは、言い方が上手じゃなくても、自分の考えをしっかりと発びょうすることです。また、友だちのいけんにもしっかりと耳をかたむけ、友だちの気もちを分かつとしましよ。

し合がこまっているとき、みんなできょうりよくしてもり上げましよ。

そして、みんなで話し合ひ、けっていしましよ。



### ○話し合うだんかいをりかいしておこう

話し合うだんかい (このだんかいを話し合うこと②、③もくり返す)

- ① 出し合う : アイディア、考えの発びょう、しつもん
- ② くらべ合う : さんせい、はんたいいけん、つけたし、しつもん、せっとく、  
がったいあん
- ③ まとめる (いけんをきめる)

### ○こんな発げんはちゅうい!

- ・お金にかんすること
- ・友だちがいやな思ひをすること
- ・時間わりや場所にかんすること

**「みんなもよくて自分もよい」**  
ことがきめられるように、話し合ひましよ